

小学校国語科単元計画 【第2学年：読むことウ】

【単元のねらい】登場人物の行動や会話に着目して、出来事や人物の行動や様子を順序よくとらえ、人物の様子や気持ちを想像しながら読むことができるようにする。

【単元のめあて】がまくんとかえるくんが出てくるお話を読んで、がまくん、かえるくんにお手紙を書こう

1次

登場人物の様子や気持ちを想像しながら読み、手紙を書く

並行読書「ふたりはともだち」シリーズ

《学習の見通しを持つ》

- 1 【めあて】がまくんとかえるくんのお話と教師が書いた手紙から、めあてをつかもう。
- 2 【めあて】手紙を書くための学習計画を立て、学習の見通しをもとう。

振り返り

2次

《「お手紙」を読んで、がまくん、かえるくんの気持ちや行動のわけを想像し、手紙を書く》

- 1 【めあて】場面ごとに「だれが」「何をしているか」まとめ、流をつかもう。
- 2 【めあて】がまくんとかえるくんの「かなしい気分」を思いうかべよう。
- 3 【めあて】手紙を書いてかたつむりくんにたのんだかえるくんの気持ちを思いうかべよう。
- 4 【めあて】お屋ねしていたがまくんと手紙をまっているかえるくんの気持ちを思いうかべよう。
- 5 【めあて】「二人ともしあわせな気持ち」になったわけを考えよう。
- 6 【めあて】手紙が届いたときの様子や気持ちを思いうかべよう。
- 7 【めあて】『お手紙』のがまくんやかえるくんに手紙を書こう。

振り返り

3次

《自分が読んだお話のがまくん、かえるくんの気持ちや行動のわけを想像し、手紙を書く。》

- 1・2 【めあて】心に残ったことや自分が思ったことをがまくんやかえるくんの手紙に書こう。
- 3 【めあて】手紙を読みあって、学習の振り返りをしよう。

振り返り

登場人物に宛てて手紙を書くことを通して、登場人物の行動や会話から、そのときの様子や気持ちを想像豊かに読む力を付ける。

【単元の振り返り】(例) (友達の手紙を読んで) ・かえるくんてほんとうにやさしいとわかったよ。 ・がまくんはうれしい気持ちになるのまちがないね。 ・手紙を読みあうのが楽しかった。 みんなよく気持ちが書けていた。